

報告 5

令和元年度学校保健及び学校安全表彰(文部科学大臣表彰)について

このことについて、文部科学省から、下記3名の表彰を決定した旨通知がありましたので、報告します。

この表彰は、学校保健及び学校安全の普及と向上に尽力し多大な成果をあげた個人、学校及び団体を文部科学大臣が表彰するものです。

なお、表彰式は11月21日(木)に、埼玉県で開催される「令和元年度全国学校保健・安全研究大会」の中で執り行われる予定です。

記

1 印南 等 氏(67歳) 矢板市立東小学校 学校歯科医

【功績概要】

昭和56年4月から現在までの38年間、矢板市内の小中学校において学校歯科医を歴任し、児童生徒の疾病予防、歯科衛生思想の普及啓発、学校保健管理の普及向上に貢献した。また、幼児や学童に対するフッ素塗布、良い歯のコンクールなどにも貢献した。

2 牛久 幸泰 氏(67歳) 栃木県立栃木高等学校 学校薬剤師

【功績概要】

昭和58年4月から現在までの36年間、栃木市内の小中高等学校において学校薬剤師を歴任し、健康で安全な学習環境づくり、学校環境衛生の向上に貢献した。また、薬物乱用防止教室では、薬物の危険性、有害性など、正しい知識の普及にも貢献した。

3 飯田 道彦 氏(59歳) 栃木県立学悠館高等学校 校長

【功績概要】

県立学校に28年間、県教育委員会に9年間勤務し、性に関する指導の手引の作成等に携わり、本県保健教育の基礎を作った。平成30年4月からは県高等学校教育研究会保健体育部会会長、同会保健養護部会副会長として、教員の指導力の向上に貢献した。